

えんがわ通信

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

発行 * 一般社団法人パーソナルサポートセンター
就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンボール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

羊毛ファイギュアなど各地で販売

売れ行き好調 輪の広がり期待

えんがわ

「コミュニティ・ワークサロン「えんがわ」(太白区あすと長町)で羊毛ファイギュア作りなどの手

仕事に取り組み仮設住宅に住む女性たちが、各地で開催されるイベントに出かけ、自らが作った商品の販売に力を注いでいる。10月から11月上旬にかけては、県内外で計11回出店。陳列などに工夫を凝らしたことも功を奏して、売れ行きは好調だ。「いらっしやいませ」

山形県最上町で10月20日に行われた「当地芋煮の味を競うイベント」栗駒山麓三つ巴(どもえ)芋煮の陣。大勢の来場者の中で、市内の仮設住宅に住む女性2人が、声を張り上げた。



「ころころにこまる」などを販売する女性=10月20日、山形県最上町

「きょうは結構、売れたわよ」。この日、店に立った女性の1人は声を弾ませる。

女性たちは毎週のように週末、各地のイベント

に出かけた。縁日や教会でのバザーなどに出かけ、陳列に工夫しながら羊毛ファイギュアの「ころころにこまる」や「手作りキャンドル」などを販売した。PSC就労支援事業部の集計では、「ころころ」が300個、「キャンドル」が200個以上と、売れ行きは好調だ。

担当スタッフは「販売翌日には、出店した人が集まって、『何個売れた!』などと報告し合っている。より多くの人に買い求めているためアイディアをみんなを出し合っています。今後も販売先も含めて、この輪が広がってくればうれしいです」と話している。

厚労省の村木局長

えんがわ視察

厚生労働省の村木厚子社会・援護局長は10月23日、コミュニティ・ワー



クサロン「えんがわ」を訪れ、同施設で取り組む「手作りキャンドル」の制作の様子を視察した。この日の午後「えんがわ」を訪れた村木局長は、

市内の仮設住宅に住む女性2人が、ろうを溶かしたり着色したりする作業を見学した。担当スタッフが化粧品の販売の「あきゆらいず美養品」(東京都三鷹市)から本年度、約1000個の発注を受けたことや、新たな商品開発に向けた取り組みなどについて説明すると、村木局長は、興味深そうに話に聞き入っていた。

市内の仮設住宅に住む女性2人が、ろうを溶かしたり着色したりする作業を見学した。担当スタッフが化粧品の販売の「あきゆらいず美養品」(東京都三鷹市)から本年度、約1000個の発注を受けたことや、新たな商品開発に向けた取り組みなどについて説明すると、村木局長は、興味深そうに話に聞き入っていた。

「えんがわ」な人々⑩

大澤啓介(おさわけいすけ)



映画・音楽雑誌の編集者にあこがれて18歳で秋田県から仙台市に引っ越してきました。専門学校で勉強しましたが結局、編集者になることはできず、茶道具の販売会社に入社。年上のお客様と多く接することができた経験が、今も役に立っていると感じています。

もっと人のためになりたいと思っていた時、PSCの仕事と出会いました。今は、「わっくわあく」で仮設住宅にお住まいの方の就労につながるための生活サポートを中心に、相談者の必要な支援を考え、専門のチームへつなぐ仕事をしています。

相談に訪れる方は、考え方も、抱えている問題もさまざまです。そうした方がより良い方向に進むことができるよう、ベストを尽くしたいと考えています。



明日へつなぐ

頑張ってきた人ほど
こだわりは強い。
でも、ちょっと捨てる
チャンスはある。

大阪府豊中市
パーソナル・サポートセンター
西岡 正次 所長

豊中市では、市民協働部雇用労働課を中心に、地域就労支援や中間的就労、パーソナル・サポート事業など雇用・就労支援に関するさまざまな取り組みを展開しています。対象は、就労が困難な人ですが、中でも相談の割合として高いのは高齢者です。

高齢者は、ハローワークに足を運んでも、求人が少ないのが現状です。これは全国どの地域でも一緒の状況ではないかと思えます。阪神・淡路大震災が、就労支援のきっかけになり

ました。高齢者の働く場所がなくなってしまう、あふれかえったのです。そうした中で、高齢者のための仕事づくりが兵庫県周辺で始まり、今の就労支援の原型になりました。

この震災では、建設業など一部の産業が苦境に陥り、既存の企業で、雇用が困難になりました。一方で、地域の高齢者の仕事づくりや起業などがテーマになり、コミュニティ・ビジネスなどの動きが生まれました。

その中の一つの間就労は、訓練的な意味合いが強いです。緩やかな強い就労です。緩やかなキャリアプランを歩まざるを得ない人もおります。大卒でも、就職することが難しい時代になっています。そうした方々にとっては重要な取り組みです。

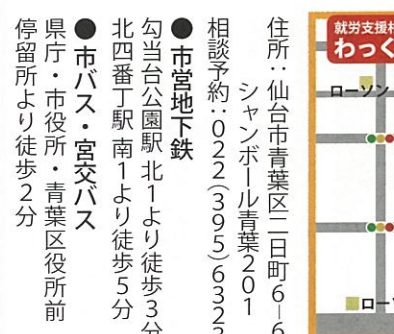
仙台は経済圏が都市型で、大きなものづくり系の企業も周辺に結構あると聞きます。支援側として大事な視点は、企業単位の視点です。企業を支援しながら、どう雇用を切り出してもらえるかを考え、行動することです。企業と付き合うなどしながら、働く場

をどう耕し、作るのか、とことん芽を見つけ、応援していく姿勢が大切だと思います。

被災者のみなさんには、働く場を一緒に考えて作ってほしいと思います。自分の働き方をアレンジする時代になりました。一人でそれをせずに、PSCなどに相談して決めるのもいいのではないのでしょうか。

頑張ってきた人ほど、こだわりの強い人は多いですが、でも、ちょっとだけそれを捨ててみると、チャンスは結構あると思えます。

参加者のうち5人が週一回、同社の運営するパソコンスクール「つながるアカデミー」に通い、メールの送信などについて学ぶことが決まった。



「わっくわあく」の所在地

住所: 仙台市青葉区二日町6-6
シャンボール青葉201
相談予約: 022(395)6323

- 市営地下鉄 勾当台公園駅北1より徒歩3分 北四番丁駅南1より徒歩5分
- 市バス・宮交バス 県庁・市役所・青葉区役所前 停留所より徒歩2分

TOPICS(12月)

就業や進路に関する個別相談

専門の相談員による、就職や進路・キャリア等に関する個別相談を開催します。(就職のあっせんではありません)

- 日時：12月18日(火) 10～18時(お一人50分)
- 場所：AER6階 情報・産業プラザ内
- 対象：①学生・求職中の方(年齢不問)、②在職者(30代まで)
- 定員：28名
- 申込締切：12月11日(火) 必着

◎申込方法：郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、学生・求職中・在職中のいずれかを記入し、郵便・FAX・Eメールでお申込み下さい。締切後に応募者全員に決定通知書をお送りします。

◎お問合せ先：仙台市産業振興事業団

〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階
TEL: 022-724-1212, FAX: 022-715-8205
Eメール: koyoushien@siip.city.sendai.jp

のびすく仙台

- ◎利用できる人 主に乳幼児とその家族
- ◎住所 仙台市青葉区中央2丁目10番24号(仙台市ガス局ショールーム3階)
- ◎問い合わせ TEL: 022-726-6181 FAX: 022-214-5071

パパ'Sクッキング 受付中

パパがお菓子作りに挑戦! クリスマスにぴったりのブッシュ・ド・ノエルをつくります。

- デコレーションはママとお子さんも一緒にどうぞ。
- 日時：12月2日(日) 10:00～11:30
- 講師：多賀周子さん(ガス局栄養士)
- 場所：ガスサロン1F キッチンパレット
- 定員：8名
- 材料費：700円
- 持ち物：エプロン、三角巾、ふきん

クリスマス会 申込不要

ママボラさんによるハンドベルの演奏や英語あそび、パネルシアターなどお楽しみいっぱい! 手づくりのプレゼントもあります。

- 日時：12月11日(火) 10:30～11:15
- 場所：のびすく仙台 こどもひろば

ママともサロン0123(託児付) 受付中

震災後、さまざまな不安を抱えて福島県から仙台に引っ越してきたママたちでおしゃべりしませんか?

- 日時：12月14日(金) 10:30～12:30
- 場所：エル・パーク仙台和室(仙台三越定禅寺通り館5階)
- 対象：福島県から避難してきた乳幼児をもつ母
- 定員：10名(子どもと一緒に可)

託児について

- 対象：生後6ヵ月～未就学児
- 場所：エル・パーク仙台 子供の部屋
- 料金：無料
- 持ち物：おむつ、着替え、おしりふき、ビニール袋、お子さんの飲み物

わーくさぼーと説明会・なんでも相談会

なかなか仕事が見つからない、自分に合った仕事が見つからない、資格や経験がない、起業したい…。

そんな悩みを抱えるあなたへ! わーくさぼーとの各プログラムに参加しませんか? あなたを求めている人がいます。協同で働く場を、皆と一緒に作りましょう!

説明会と同時に、就労に関するさまざまな相談に応じる無料相談会も開催します。

興味のある方は、お気軽にご参加下さい。

◆第1回：12月12日(水) 13:30～

会場：小田急仙台ビル 6F会議室(仙台市青葉区一番町4-7-17)

◆第2回：12月13日(木) 13:30～

会場：市民活動サポートセンター 6Fセミナーホール(仙台市青葉区一番町4-1-3)

◎連絡先(お問い合わせ先)：「わーくさぼーと」

(被災就労困難者の就労支援・コミュニティ就労創出プロジェクト)
担当：佐々木・松尾
住所：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目7-17
小田急仙台ビル608 ワーカーズコープ事務所内
電話：022-398-4975 FAX: 022-398-4973
mail: works-sendai@roukyou.gr.jp
主催：NPO法人ワーカーズコープ
共催：一般社団法人パーソナルサポートセンター

えんがわ通信 求人コーナー

このコーナーでは、就労支援相談センター「わっくわあく」(PSC就労支援事業部)と提携する特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」が、みなさまにさまざまな求人情報をお届けします。

※特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」無料職業紹介事業(許可番号04-ム-300010)

社会福祉法人 東北福祉会 【職種】 福祉関係(介護職員) 【雇用形態】 契約社員 【待遇】 月給139,500円 夜勤手当有4,000円/回(月5～6回あり) 【就業場所】 特別養護老人ホーム「リベラ荘」(青葉区国見ヶ丘) 【就業時間】 (1)7:00～16:00 (2)12:00～21:00 (3)21:00～7:00 ※シフト制(場合によりその他時間帯あり) 【休日】 月間休日9～10日(シフト制) 【加入保険】 雇用・労災・健康・厚生退職金あり(共済):勤続1年以上 【免許資格】 普通自動車運転免許、ヘルパー2級以上優遇	有限会社 ケア・メディカル 【職種】 福祉関係(介護職員) 【雇用形態】 契約社員 【待遇】 月給136,000～165,000円 夜勤手当有5,000円/回(月3～6回あり・応相談) 【就業場所】 グループホームデイジー(宮城野区田子) 【就業時間】 (1)7:00～16:00 (2)9:00～18:00 (3)10:30～19:30 (4)17:00～9:00 ※シフト制 【休日】 4週8休(シフト制) 【加入保険】 雇用・労災・健康・厚生・退職金制度あり(勤続3年以上) 【免許資格】 普通自動車運転免許、ヘルパー2級以上尚可	株式会社 安全調査機構 【職種】 警備(施設駐車場・工事現場等の車両誘導及び施設巡回、事故の未然防止) 【雇用形態】 契約社員 【待遇】 時間給800円(夜間・資格の各手当あり) 【就業場所】 仙台市内及びその近郊市町村 【就業時間】 (1)8:00～16:00 (2)16:00～24:00 ※シフト制、応相談 【休日】 月間休日5～6日(シフト制)応相談 【加入保険】 雇用・労災・健康・厚生 【免許資格】 不問(経験者優遇)
株式会社 半田屋 【職種】 調理(補助)・洗い場等全般 【雇用形態】 パートタイム 【待遇】 時間給790円 【就業場所】 大衆食堂「半田屋」愛宕橋・西多賀・中田・多賀城・市名坂・本町・東口Bivi店 【就業時間】 (1)7:00～14:30 (2)14:30～22:00 (3)22:00～7:00 ※勤務時間は応相談 【休日】 月8日(シフト制) 【加入保険】 勤務時間により異なる 【免許資格】 不問	株式会社 光和 仙台支店 【職種】 駐車場の運営・管理 【雇用形態】 正社員 【待遇】 月給124,000円 【就業場所】 東北大学病院(仙台市青葉区) 【就業時間】 (1)6:30～15:30 (2)8:00～17:00 ※シフト制 【休日】 週休2日(シフト制) 【加入保険】 雇用・労災・健康・厚生退職金あり(定年まで3年以上勤務が条件) 【免許資格】 普通自動車運転免許(但し、仕事上の運転業務なし)	有限会社 庄子造園 【職種】 樹木剪定、造園工事全般 【雇用形態】 パートタイム 【待遇】 138,600～184,800円(日給6,000～8,000円) 【就業場所】 若林区荒井 【就業時間】 8:00～17:00 【休日】 日祝他(年間休日87日) 【加入保険】 雇用・労災・建設業国保加入・退職金共済制度あり 【免許資格】 普通自動車運転免許

※求人は11月12日現在のものです。求人募集が終了している場合がございますので、あらかじめご了承ください。

その他にも求人多数有り。求人に関する問い合わせ、連絡先は
022-395-6364(ワンファミリー仙台求人担当)

就職のお悩み相談は、就労支援相談センター「わっくわあく」へ。電話 022-395-6323

参加者募集(12月)

封入手伝い

PSC就労支援事業部は12月19日から3日間実施する「復興定期便」(仙台市からのお知らせ)の封入作業の従事者を募集している。青葉区に住んでいる被災者が対象。作業は、午前と午後1日2回、同区川内の公務員住宅内にある仮設住宅の集会所で行われ、参加者には謝礼として1回あたり2000円分の商品券を支払う。作業は、休憩時間を含め約3時間。締め切りは12月10日。

申し込みは、PSC・千葉080(4426)9824まで。

料理教室

月刊誌「婦人之友」の愛読者でつくる「仙豆友の会(太白区)」は、12月12日に行う料理教室の参加者を募集している。

教室は午前10時から開始で、エプロン持参。参加費は200円(実費で定員は10人となっている。申し込みは仙台友の会・前嶋090(3124)1181、またはPSC・千葉080(4426)9824まで。

「えんがわ」のつぶやき 「やっていける」の自信 カフェで

シングルマザーや子育て中のお母さんたちの働く場にしようと、PSCは、近くカフェをオープンさせる。

働きたいけれど少し不安な人、ほとんど働いた経験がなく、何ができるかわからない人、育児中で条件の合う仕事が見つからない人。あるいは、ゆっくりと世間に踏み出していくための助走期間が必要な人もいるだろう。そうした人たちが、カフェの仕事を通じて、一つの経験を積み重ね、学びながら、いずれは本格的な仕事を見つけて、「やっていけるようになること」をこのカフェは目指している。

最近、企業は即戦力を求める傾向が強くなり、研修や育成に時間をかけたがらないと聞く。ほんの少しの助走期間さえあれば、企業や団体から見ても「役に立つ人」になるはずなのに、人たちが、そこでは、見落とされているのかもしれない。

ここで「仲間」として働く人には、飲食業としてはもちろん、「職場」の経験を一つ積むことで、技術を身に付け、自信を持って働くことができるきっかけになればと思っている。ともに働きやすい店を作り上げたい。

(K)

れない。

ことに、職業経験の比較的浅いシングルマザーや若いお母さんたちが仕事場を確保するのは大変だ。カフェは、そうした方々にとつて、本格的に働くための準備の場となればと思っている。

オープンに向けて、いま、準備を進めているPSCの女性職員4人は、いずれも飲食の仕事は初経験。鍋やカップ、皿の準備から始まり、店の内装工事やメニューの開発に至るまで、一つ一つ試行錯誤を繰り返しながら、マニュアルを作ったり、検証したりして、「来たる日」に備えている。

「やっていける」の自信、カフェで

「やっていける」の自信、カフェで

「やっていける」の自信、カフェで

「やっていける」の自信、カフェで

「やっていける」の自信、カフェで